

プレミアム基準の活用に係る専門委員会における 検討状況について

1. 試行対象品目の選定

本年度のプレミアム基準の活用に係る試行対象品目の選定に当たっては、第 1 回検討会において示した 5 つの対象品目選定の考え方¹のいずれか又は複数の組み合わせを満たすとともに、比較的容易にプレミアム基準の設定が可能と考えられる品目を選定し、平成 27 年度の環境省において実際に調達を試行する対象品目としての妥当性について検討を実施した。なお、上記 5 つの考え方に加え、環境省において一定程度調達される品目であることも選定に当たって考慮すべき事項としている。

さらに、第 1 回専門委員会において、特に役務分野の品目をプレミアム基準の対象品目として積極的に選定することが重要である旨指摘されており、こうした指摘を含め、試行対象品目に係る選定に係る検討を行った。選定の概要は、以下のとおりである。

（1）試行対象品目に選定又は検討中の品目

① 画像機器（コピー機等、プリンタ等、ファクシミリ等及びスキャナ）

画像機器については、

- 国等の機関における調達量が多く、相応の環境負荷低減効果が見込まれること【考え方①】
- 地方公共団体や民間部門等への波及効果が見込まれること【考え方②】
- 本年 5 月に「複写機・プリンタなどの画像機器」としてエコマーク商品類型として選定され、認定基準が制定されたこと【考え方⑤】

から、試行対象品目に選定した。

なお、画像機器については、例年一定程度環境省において調達が実施されている品目である。

② 文具類

文具類については、

¹ 対象品目選定の考え方は、以下のとおり。

- ① 調達量又は販売量の多い品目であって、相応の環境負荷低減効果が見込まれる品目
- ② 国等の機関に止まらず、地方公共団体や民間部門（事業者、消費者）等への波及効果が見込まれる品目
- ③ 新たな技術開発や普及の進展等により一層の環境負荷低減が見込まれる品目
- ④ 環境政策の観点から広く普及を図る必要がある品目
- ⑤ 国内外の各種制度やエコマーク等の環境ラベル等の動向（整合又は参考としている制度・基準等の改定・基準レベル等）

- 国等の機関における調達量が極めて多いこと【考え方①】
- 地方公共団体や民間部門等への波及効果が見込まれること【考え方②】
- 文具類 83 品目のうち 80 品目はエコマーク商品類型に対応していること【考え方⑤】

から、試行対象品目として選定する方向で検討・調整中である。

なお、試行対象品目とする場合は、国等の機関による調達量が多い品目を選定する予定である。

③ 印刷

印刷については、

- 国等の機関における調達量が多く、相応の環境負荷低減効果が見込まれること【考え方①】
- 地方公共団体はもとより、特に民間部門への大きな波及効果が見込まれること【考え方②】
- 業界団体において環境に配慮した事業者や印刷の資機材を認定するグリーンプリンティング制度を運用していること【考え方⑤】

から、試行対象品目として選定した。

なお、印刷業界もプレミアム基準の設定及び普及に対して積極的な対応を図ることとしている。

④ イベント

イベントについては、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおける活用を視野に、中規模又は大規模なイベント開催に係るプレミアム基準の考え方を整理・検討することとした。

(2) 試行対象品目に係るプレミアム基準

第2回専門委員会及び本日の特定調達品目検討会における議論を踏まえ、関係業界団体等と協議の上、第3回専門委員会（平成27年2月中～下旬開催予定）において、試行対象品目に係るプレミアム基準を提示・検討するものとする。

2. イベントに係るプレミアム基準の考え方

(1) イベント開催における環境配慮

イベント開催に当たって、準備段階から配慮すべき基本的な考え方としては、環境負荷の大きい部分において、効果的な2R（リデュース、リユース）の推進、設備、機器に係る省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利用、イベントの主催者、出席者他、ステークホルダーの環境意識の高揚につながる対策の実行などがあげられる。

イベント運営に当たってのPDCAサイクルに基づく考え方は、既にISO20121におい

て整理されており、また、国際的にもガイドライン等が複数策定されていることから、これらの既存の規格、ガイドラインを参考とし、使用する会場、宿泊施設、飲食物の提供、イベントに関連する資材、輸送、展示などにおいて取り組むべき事項を整理するとともに、イベントの実施に関連する様々な製品・サービスの調達に当たってのプレミアム基準の活用の考え方について検討を行う。

（２）環境に配慮された製品・サービスの調達

イベントに必要となる製品やサービスの購入、使用に当たって、プレミアム基準の考え方を適用し、さらに進んだグリーン購入を推進するための要件を検討する。

本年度は、一般的なイベントにおいて使用される物品及びサービスについて、特定調達品目に該当する場合は、グリーン購入法の判断の基準に加えて満たすべき事項を検討するとともに、特定調達品目以外の場合は、民間部門等への波及効果や環境負荷低減効果を勘案し、対象となる品目を選定し、当該品目に係る重要な環境負荷側面の整理を行う。

【専門委員会の検討スケジュール】

第１回専門委員会（平成 26 年 7 月 7 日）

- ☐ 専門委員会における検討方針等について
- ☐ 試行対象品目候補について

第２回専門委員会（平成 26 年 10 月 15 日）

- ☐ 試行対象品目の選定及びプレミアム基準の設定について
- ☐ イベントに係るプレミアム基準の考え方について

第３回専門委員会（平成 27 年 2 月中～下旬）

- ☐ プレミアム基準の活用に係るとりまとめ（調達試行案の提示等）
- ☐ 平成 27 年度における検討課題等について